

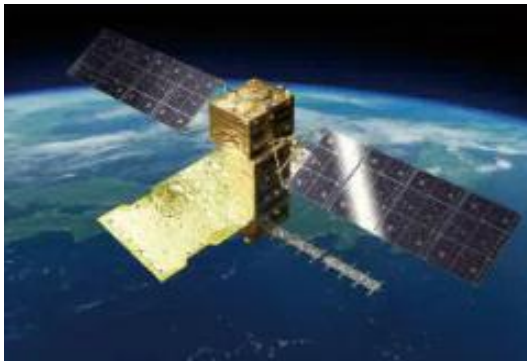
海洋状況把握（MDA）に関する 文部科学省の取組について

令和8年6月

文部科学省のMDAに関する現状の取組

現状の取組（MDA構想策定後）

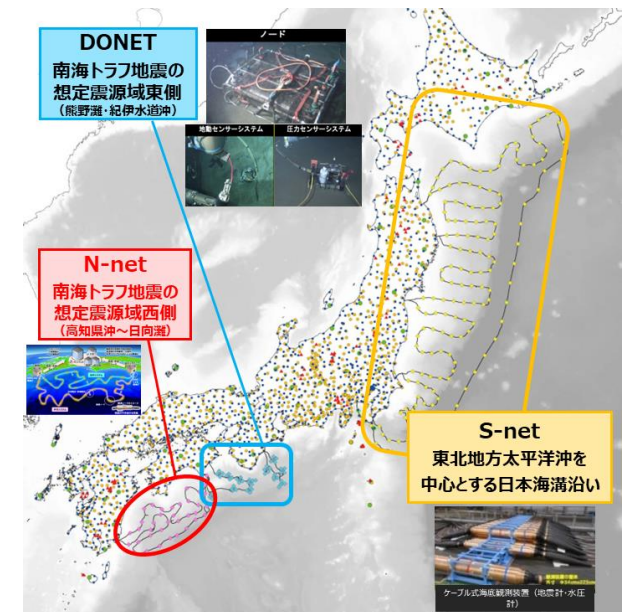
- 昼夜/天候を問わず広域観測可能なレーダとAIS受信機を搭載した「だいちシリーズ」により要注意船を識別
- JAXAにおいて今後の衛星開発で重点的に取り組むテーマ（重点テーマ）の一つとしてMDAを設定
- 国際アルゴ計画推進に係るアルゴフロート等を戦略的に展開
- 海洋のデジタルツインの構築に資する海洋データ（海流、海水温、塩分等）を提供
- 北極域研究船「みらいⅡ」の本年秋（予定）の就航に向け、建造を着実に推進
- 南海トラフ海底地震津波観測網（N-net）の観測データの公開を開始
- 海底地震・津波観測網の着実な運用の実施と津波波源及び震源断層モデルの推定技術の開発



先進レーダ衛星
「だいち4号」（ALOS-4）



建造中の北極域研究船「みらいⅡ」



海底地震・津波観測網

文部科学省のMDAに関する今後の取組

今後の能力強化・取組に向けた方針（基本的考え方）

- MDAに資する衛星の運用及び迅速かつ安定的なデータ提供や研究開発を継続
- 北極域研究船「みらいⅡ」の建造と本格運用に向けた準備等、アルゴフロートの戦略的な展開、国際観測枠組みに則った基盤的船舶観測と観測網の維持・高度化を推進
- 海底地震・津波観測網を更新・機能強化し、観測データを安定的に取得することで、科学技術の活用により防災・減災に貢献

今後の取組（令和7年度補正・8年度当初予算、スケジュール）

- 「いぶきGW (GOSAT-GW)」の標準プロダクト※の提供を開始※JAXAにより一定の品質が保持されたプロダクト
- 「だいち (ALOS) シリーズ」、「GCOMシリーズ」等の各衛星の運用及び迅速かつ安定的なデータ提供を継続
- MDAに資するJAXAの重点的に取り組むテーマに基づいた研究開発を継続
- 大深度探査機の着実な開発・運用
- 北極域研究船「みらいⅡ」の建造（本年秋竣工予定）及び運用準備等
- 海底地震・津波観測網の安定運用を継続



気候変動観測衛星
「しきさい」(GCOM-C)



フルデプス対応試料採取
探査システム概念図



深海巡航探査機「うらしま8000」